

新型コロナウイルス感染症防止施策の検証について

令和3年9月7日

	具体的施策	対応部	実施状況	検討結果
--	-------	-----	------	------

実施状況 済：実施済み ◎：実施・充実 ○：実施に向け検討  
 △：課題はあるが実施に向け検討 □：今後の課題 ◇：企業協賛・民間レベルで検討

1 市内の感染者を減らす施策（人流を減らす施策）

経済	②市内店舗に営業縮小の協力を求める。	市民部	○	営業補償の財源、協力店舗の履行状況確認に課題あり。
	④市内にある飲食店・小売店等の宅配一覧を作成し、全戸配布する。	市民部	○	実施済
	⑥買物代行	福祉保健部	◎	現在実施に向けて準備中。10月初旬までに実施可能。
	⑦市内スーパーが移動販売車やネットスーパーの拡充が図れるような支援事業を実施する。	市民部	○	東京都において実施済
	⑨路上公共の場での飲酒禁止	都市整備部	○	新型インフルエンザ等対策特別措置法第24条第9項の規定により市は要請できないが、東京都への要請は可能であり、要請をしている。また、啓発ポスター掲示等の東京都への協力は可能。
職員対応	①市役所の出勤職員削減（市内最大の事務所）＝テレワーク、時差出勤	総務部	◎	新型コロナ感染拡大防止の観点等から、時差出勤を導入しており、また、テレワークも試行実施している。
	⑤在宅を促すために一般市民に対しても図書館の図書の宅配サービスを拡充	生涯学習部	○	一日あたり270件以上の宅配に応じられる宅配体制等を含む運用手法の検討が必要。それに伴う場所の確保や予算措置が整えば実施可能
	⑦通勤手段の緩和（自転車、自動車、バイクなど）	総務部・学校教育部	○	新型コロナ感染拡大防止の観点から、通勤手段について、可能な範囲で、徒歩や自転車での通勤への切り替えを推奨している。（総務部・学校教育部）
補助 (物含む)	①市内事業所のテレワーク環境整備補助金（小金井に来る人を減らす）	各部	○	東京都において実施済。財源の確保及び市内事業所に環境整備の要望がどれくらいあるのかの調査が必要。（市民部）
	②市内の企業がテレワークを実施（市内に人を来させない状況を作っている）する場合に補助金を交付する。	市民部	○	東京都において実施済。財源の確保及び市内事業所に環境整備の要望がどれくらいあるのかの調査が必要。
	④市内企業のリモートワーク体制確立のための補助金	市民部	○	東京都において実施済。財源の確保及び市内事業所に環境整備の要望がどれくらいあるのかの調査が必要。
	⑤訪問診療や往診等の拡充のための補助事業を実施する。	福祉保健部	◎	小金井市医師会の意向も確認した上で検討する。

広報	①業者等による市役所への来庁について、極力控えてもらうよう案内（昼休みの業者のチラシ配布や、不急の営業など）	各部	○	特に不急の業務はない。各会派へのチラシ等の配布も件数は少ない。（議会事務局） 事前のアポイントがなく来庁されるケースが多いが、ホームページ等で案内することは可能（子ども家庭部） 電話で営業があった場合は、来庁を断り、契約書類の受渡等については郵送での依頼をする。委託契約業者等に極力電話やメールでやりとりを行うように周知する。（総務部） 来庁の際に案内は可能。説明の接触時間短縮のため窓口で業者に示す貼紙を全庁で行う（監査委員事務局） 社名のわかっている会社（常連の保険会社など）については、個別に対応して周知する。不急の営業については、市HPなどで案内する。アポイントの問い合わせがあれば不急の営業は断っている。改めて執務室への立ち入りは断っている。実施においては、各部対応ではなく管理部門で市の方針として広報・周知すべきである。（市民部） 各課毎に判断は異なるが実施可能。（区画整理課は不可。道路管理課は郵送や電話により対応中。都市計画課は地権者対応については不可。他課は可能。）（都市整備部） 実施可能と考えるが、各部（課）で対応するよりも全庁的な対応が望ましいと考える。なお、図書館では、来館者に向けて館内利用について掲示済み（生涯学習部）
	⑤現在行われている市ホームページ、市公式ツイッターさらにJ:COMなどメディアを活用しての周知について、さらに回数を増やす。	企画財政部	◎	市ホームページでは外出自粛等についてブランディングエリアに常に掲載している。J:COMにおいてもテロップで防災無線と同内容の文言を毎日流してもらっている。ツイッターについては、市公式アカウントで毎日各課アカウントによるツイートをリツイートしている。担当課がツイートすればリツイートしている。人流抑制という点についてのみであれば、市公式アカウントで一度固定ツイートすることも可能。
	⑥防災無線での周知回数をもう少し増やす。	総務部	○	回数を増やすことは可能であるが、現在の回数でも市民からの苦情もあり、また流す時間帯も考慮する必要があることから、回数増による効果も含め慎重な対応が必要。
	⑦アプリ、SNS、ポスター等々、あらゆる媒体を使って、感染防止対策を今一度露出させる。	福祉保健部	◎	広報秘書課とも連携・検討しながら実施を進める。
	⑧HPでの動画公開（市内ゆかりの人など）	企画財政部	○	医師会・薬剤師会と合同で動画は作成している。 上記動画と同形式で市内ゆかりの人での作成もできるかもしれないが、別項目のCMでの使用も視野にいれれば、事業者依頼し、CMにも流用できるようにしたほうが良い。 また、市観光大使にはメディア露出が高い人はいないため、肩書として医者や観光大使では、明らかに観光大使のほうが有効ということになれば、費用対効果も含め、新しく作成することは更なる検討が必要
③学校のオンライン授業化（市内での人流抑制）	学校教育部	○	学級閉鎖等での部分的対応は可能。市内一斉実施は、児童・生徒の心身への影響等からも慎重な判断が必要。	

在宅（オンライン含む）	⑤オンライン手続きを導入する。	企画財政部・各部	○	<p>行政手続のオンライン化に取り組むに当たっては、既存の行政手続を前提とするのではなく、業務内容や業務プロセス等を抜本的に見直し、再構築するいわゆるBPRの取り組みとあわせて行うことが重要である。このため、国の法令等に基づくもののみならず、自治体が独自に実施する手続も含めて、書面規制・押印・対面規制の見直しに取り組むほか、「申請自体を不要とすることはできないか」という観点も含めて検討することが必要だが、庁内において具体の進捗は確認できない。また、デジタルガバメント実行計画において定められている「地方公共団体が優先的にオンライン化を推進すべき手続」31手続の令和4年度末稼働については、接続部分に係る準備手配を進めてはいるが対象手続の事業主管課における準備状況は不明である。（企画財政部）</p> <p>市としてオンライン手続きの手法が確立できれば、今後検討可能（議会事務局）</p> <p>図書館では、WEB利用のパスワードをオンラインで発行可、公民館では、施設予約システムは導入済み（生涯学習部）</p> <p>各課毎に判断は異なるが実施可能。（区画整理課は申請内容を確認する必要があるため不可。道路管理課は郵送や電話により対応中。他課は押印、人員、システム等の環境を整えば可能）</p> <p>導入に向け検討開始は可能。（選管事務局）</p> <p>現場対応を除く一部事務については対応可能（環境部）</p>
	⑥窓口相談のオンライン化を導入する。（先行事例：滋賀県大津市）	各部	○	<p>市としてオンライン手続きの手法が確立できれば、今後検討可能。（議会事務局）</p> <p>オンラインの環境整備を整えば実施可能（子ども家庭部）</p> <p>強力なWi-Fiの設置（途中で接続が切れない）などネットワークシステムの強化や各課への複数のタブレット端末の配置が必要。一方、納税課の納税相談については電話で実施しておりオンライン化の必要性はない。対面での対応が不要な事業については、既に電話や郵送で対応している。各部対応で実現できる施策なのかどうかも含め、先行事例を調査してみないと判断できない部分もある（市民部）</p> <p>図書館では、既実施として、調べ物相談をメールで受付可（生涯学習部）</p> <p>窓口相談のオンライン化は対応可能。ただし、投票を促す立場にあるため、極度の人流抑制を促すことは難しい。（選管事務局）</p> <p>各課毎に判断は異なるが実施可能。（区画整理課は申請内容を確認する必要があるため不可。道路管理課は郵送や電話により対応中。他課はシステム等の環境を整えば可能）（都市整備部）</p> <p>相談可能項目の精査が必要だが、環境を整えば可能</p>
	⑦市が民間企業の模範となるようテレワーク、在宅勤務の拡大と徹底を図る。	総務部・学校教育部	○	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止の観点等から、テレワークを試行実施している。（総務部）</p> <p>感染拡大防止の観点からテレワークを試行実施している。（学校教育部）</p>
	⑨市の集会施設等にテレワーク個室ブースを設置	市民部	○	Wi-Fiの設置や施設の改修等、課題は大きい。

	具体的施策	対応部	実施状況	検討結果
--	-------	-----	------	------

実施状況 済：実施済み ◎：実施 〇：実施に向け検討  
△：課題はあるが実施に向け検討 □：今後の課題 ◇：企業協賛・民間レベルで検討

2 市民にワクチン接種を促す施策

労働条件の緩和（通学を含む）	②ワクチン接種について、市のHPには「2回目の接種は3週間後の同時刻。日時の変更はできません。」とある。特に危機感が薄い10代は、ワクチン接種より文化祭や定期テスト、部活を優先しがちであり、3週間後に必ず同時刻に接種できる確信がないため、ハードルが上がってしまう。せめて「2回目の接種は3週間後になります。」と掲載し、2回目接種日は3週間後の数日遅れまでは許容の範囲とし、時間も同時刻とせず、空いている時間を選ぶようにした上で、1回目の時に予約をしてもらえると、少しハードルが下がる。ワクチン接種のための遅刻・早退は認められていると思うが、（遅刻・早退が認められている事）学校から積極的に周知してもらう必要があると思う。	福祉保健部	〇	2回目予約について、現在行っている時間指定制から当初行っていた時間選択制に小金井 宮地楽器ホールでの接種から変更する方向で検討中。
	③ワクチンの有効性等をPRした市報記事の掲載	企画財政部・福祉保健部	◎	8月1日号に掲載済みではあるが、再度掲載となれば紙面の調整を行う（企画財政部）
広報	④ワクチン接種による誤った情報を払拭する情報の発信	福祉保健部	◎	こびナビ冊子の配布、医師会メッセージの市ホームページへの掲載を行ってきた。さらに、今後の情報発信において、接種に関する正しい情報を伝える。
	①現在行われている市ホームページ、市公式ツイッターさらにJ:COMなどメディアを活用しての周知について、さらに回数を増やす。	企画財政部	◎	市ホームページでは外出自粛等についてブランディングエリアに常に掲載している。J:COMにおいてもテロップで防災無線と同内容の文言を毎日流してもらっている。ツイッターについては、市公式アカウントで毎日各課アカウントによるツイートをリツイートしているの、担当課がツイートすればリツイートする。人流抑制という点についてのみであれば、市公式アカウントで一度固定ツイートするのは可能（企画財政部・福祉保健部）
	⑫市報に特集ページを組んで、ワクチン接種による効果や世間に出回っている後遺症などのデマを正す記事を掲載し、正しい知識を広める。	企画財政部・福祉保健部	◎	8月1日号に厚生労働省サイトを参考にQA掲載済み。時期をみて再度行うのであれば、担当課と調整し、表現に注意をしつつ、こびナビから抜粋したものを掲載することは可能（企画財政部）
	⑬大規模接種会場のキャンセル情報を駅前でアナウンスする。	福祉保健部	〇	予約状況に応じて行っている保健センターでの予約なし接種を小金井 宮地楽器ホールでも継続するとともに、ツイッターでの発信を行う。
	⑩ワクチンの成分や効果、接種有無それぞれのメリットデメリットの分かりやすい周知	福祉保健部	◎	こびナビ冊子の配布、医師会メッセージの市ホームページへの掲載を行ってきた。さらに、今後の情報発信において、接種に関する正しい情報を伝える。
	⑪誤った情報が混乱し、接種しないという方に対してのアプローチとして、周知方法を工夫する。	福祉保健部	◎	勧奨通知の発送を予定している。
	⑧正しい知識のメッセージ動画をSNSで発信する。（出演者は、FC東京、小金井市ゆかりの有名人、オリンピック等）	企画財政部・生涯学習部	〇	医師会・薬剤師会と合同で動画は作成している。上記動画と同形式で市内ゆかりの人での作成もできるかもしれないが、別項目のCMでの使用も視野にいれば、事業者へ依頼し、CMにも流用できるようにしたほうが良い。ただし、ワクチン接種については様々な意見があるため、出演していただいた方は誹謗中傷を受けたりすることのないよう配慮は十分行う必要がある。（企画財政部）
	⑨J-comのCMで啓発する。	企画財政部・福祉保健部	〇	医師会・薬剤師会と合同で動画は作成している。上記動画と同形式で市内ゆかりの人での作成もできるかもしれないが、別項目のCMでの使用も視野にいれば、事業者へ依頼し、CMにも流用できるようにしたほうが良い。ただし、ワクチン接種については様々な意見があるため、出演していただいた方は誹謗中傷を受けたりすることのないよう配慮は十分行う必要がある。（企画財政部）
	⑥特に接種が必要とされている20代・30代の市民への周知・啓蒙として、同年代でワクチン接種済の市職員・本市にゆかりのある有名人等でコーディネート番組を作成（もちろん市の管理・責任のもと）し、その中でワクチン接種の動機・接種後の副反応・その後の健康状態等を率直に話してもらいつつ、同世代の目線による等身大のメッセージを伝え、接種を促す。	企画財政部・福祉保健部・生涯学習部	〇	医師会・薬剤師会と合同で動画は作成している。上記動画と同形式で市内ゆかりの人での作成もできるかもしれないが、別項目のCMでの使用も視野にいれば、事業者へ依頼し、CMにも流用できるようにしたほうが良い。また、市観光大使にはメディア露出が高い人はいないため、肩書として医者や観光大使で明らかに観光大使のほうが有効というわけでなければ、新たに作ることは検討が必要（企画財政部）
	⑩市のHPや郵便物は見えない方が多いので、案内は駅頭や街中、コンビニ等にチラシで配布、大型商業施設の出入りに看板を立ててアピールする。	福祉保健部	◎	駅前で横断幕による小金井 宮地楽器ホールでの接種周知を図る予定。
	⑨未接種者に案内を出す。ただし強制ではない旨は必ず記載する。例えば「接種したいと思っているのに予約可能なことを知らないあなたへ」など。	福祉保健部	◎	勧奨通知の中で、情報を取捨選択する中で検討する。
	ワクチン接種の拡充	③予約なしでワクチン接種が可能となる環境づくり	福祉保健部	◎
⑦予約不要で接種ができるようにする。	福祉保健部	〇	予約状況に応じて行っている保健センターでの予約なし接種を小金井 宮地楽器ホールでも継続するとともに、ツイッターでの発信を行う。	

小福健発第220号  
令和3年9月2日

東京都知事  
小池 百合子 様

小金井市長 西岡 真一郎

小金井市医師会長 小松 淳二

### 抗体カクテル療法を実施する病院等の医療施設等の開設に関する緊急要望

現下、都のみならず、首都圏全体でデルタ株による新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、新規陽性者が激増するなど医療提供体制のひっ迫が深刻な状況となっております。

本市としましても、これまで市医師会、薬剤師会、訪問看護連絡会をはじめとする、多くの関係者の強力なご支援をいただきながら、市民へのワクチン接種を進めるとともに、市内各医療機関では、現在、急増する発熱患者の診察に全力であたるなど、市を挙げて感染拡大の防止に努めてまいりました。

しかしながら、都内における感染拡大は続き、重症化する危険を抱えながら自宅での療養を余儀なくされる都民、市民が増加するなど、危機的な状況となっております。

本市及び本市医師会としましては、この局面を打開するために、引き続き全力でワクチン接種を進めるとともに、医療提供体制の確保に努めておりますが、今後、自宅療養者の医療的支援を更に充実させていく必要があります。

このため、速やかに抗体カクテル療法を実施し、一刻も早い重症化防止を図るとともに、病床のひっ迫を軽減するために、都が設置している軽症者宿泊療養ホテル等を活用し、有効性の高い抗体カクテル療法を実施することなど下記事項について、強く要望いたします。

#### 記

- 1 宿泊療養施設を増設し、施設内で抗体カクテル療法を行う、もしくは行うことができる施設を併設すること
- 2 抗体カクテル療法を行うことができる医療機関の増設と同機関への支援体制を構築すること

令和3年8月31日

市議会議員各位

小金井市内介護事業所における新型コロナウイルス感染について

令和3年8月31日（火）、小金井市内介護事業所（訪問介護 みずたま介護ステーション小金井 所在地：小金井市本町5-7-25 SORAIRO102）において、PCR検査陽性者が発生したことが判明しました。

記

1 これまでの経過について

8月29日（日曜） 利用者1名発熱

8月31日（火曜） 同利用者についてPCR検査を実施した結果、陽性判明

2 今後の対応等について

(1) 保健所の指導に従って対応を行いましたが、濃厚接触者はいなかったため、感染防止対策を行いながらサービス提供を継続する旨の報告がありました。

(2) 当該事業所と調整のうえ、市ホームページにおいて公表を行う予定です。

(3) 今後も事業所と連携のうえ、感染拡大防止を図ってまいります。

3 人権尊重・個人情報保護について

介護事業所職員、ご利用者、ご家族等の人権尊重・個人情報保護に特段のご理解とご配慮をお願いします。

問合せ先	小金井市福祉保健部
	介護福祉課 介護保険係
	042-387-9822

令和3年9月3日

市議会議員各位

小金井市内介護事業所における新型コロナウイルス感染について

令和3年9月1日（水）、小金井市内介護事業所において、抗原検査陽性者が発生したことが判明しました。詳細については下記のとおりです。

記

1 事業所名等（サービス種別）

特別養護老人ホームつきみの園（介護老人福祉施設）

所在地：小金井市中町2-15-25

2 経過

8月29日（日） 職員1名の最終出勤日

9月 1日（水） 同職員について抗原検査を実施した結果、陽性判明

3 今後の対応等について

- (1) 保健所の指導に従って対応を行いましたが、濃厚接触者はいなかったため、感染防止対策を行いながらサービス提供を継続する旨の報告がありました。
- (2) 当該事業所と調整のうえ、市ホームページにおいて公表を行う予定です。
- (3) 今後も事業所と連携のうえ、感染拡大防止を図ってまいります。

4 人権尊重・個人情報保護について

介護事業所職員、ご利用者、ご家族等の人権尊重・個人情報保護に特段のご理解とご配慮をお願いします。

問合せ先	小金井市福祉保健部
	介護福祉課 介護保険係
	042-387-9822

## 年代別ワクチン接種状況（令和3年9月6日現在）

### 年代別ワクチン接種状況（令和3年9月6日現在）

年代別	1回目接種数	1回目接種率 (パーセント)	2回目接種数	2回目接種率 (パーセント)	人口（注記）
12歳から14歳	1,550	53.91	779	27.1	2,875
15歳から19歳	3,350	65.67	2,109	41.34	5,101
20代	9,256	56.95	6,464	39.77	16,254
30代	11,621	66.07	8,348	47.46	17,590
40代	13,951	74.15	11,335	60.25	18,814
50代	14,008	77.8	11,977	66.52	18,006
60代	11,027	86.02	10,568	82.44	12,819
70代	10,430	90.79	10,291	89.58	11,488
80代	6,160	90.8	6,077	89.58	6,784
90代	1,610	83.51	1,594	82.68	1,928
100代	48	66.67	47	65.28	72
合計	83,011	74.3	69,589	62.28	111,731

注記：接種回数は、ワクチン接種記録システム（VRS）による集計です。小金井市に住民登録のある方の全国での接種回数の集計になります。

注記：人口は、小金井市新型コロナワクチン接種実施計画（令和3年7月7日版）を基に令和3年7月1日時点のものとしています。



初秋の候、東京都三宅島三宅村長 櫻田 昭正 様におかれましては、御清祥のことと、お慶び申し上げます。

このたびは、貴重なファイザー社製新型コロナウイルスワクチンを厳重な温度管理の下、空路調布飛行場までお届けいただき、感謝に堪えません。

貴村職員の手から確かに本市職員に受け渡され、今月のワクチン接種で有効に活用させていただきます。

昨年来のコロナ禍で、貴村と本市の交流について、互いに訪問しての交流が難しい状況が続いています。

このたびの本市への御支援は、より絆が強まる新たな交流の1ページとして、しっかりと胸に刻ませていただきます。

貴村におかれましては、今月で2回目の接種が完了すると聞いております。本市では、10月末での2回目接種完了を目指して、小金井市医師会等の関係機関の皆様と強固に連携しながら取り組んでいるところであります。

以前のように三宅島を訪れることができる日を心待ちにし、新型コロナウイルス感染症の収束を目指して、本市の責務を果たしてまいりたいと存じます。

天候不順の日も多いようでございますので、お身体にはくれぐれも気をつけてお過ごしいただきたいと存じます。最後になりますが、本市からの感謝の意を関係者の皆様にも、お伝えいただければ幸甚です。

令和3年9月1日

東京都三宅島三宅村長 櫻田 昭正 様

小金井市長 西岡 真一郎